

平成26年度 施策評価シート

作成日 平成 26 年 11 月 26 日

1 施策の概要

施策名 (節の名称)	No. 20 廃棄物対策と資源リサイクルの推進				
部章節No.	第2部 第2章 第2節	評価担当部	環境経済部	関連部局	-
総合計画書掲載頁	97 頁	記載責任者	橋本和明		
総合計画 体 系	まちづくりの目標【部】	安全で安心して暮らせるまちづくり			
	施策の分類【章】	総合的な環境対策			
施策の目的 (基本方針)	資源循環型社会の構築をめざし、ごみの減量化や再資源化を推進するとともに、ごみ・し尿の収集処理の充実をはかります。				

2 施策を取り巻く環境

施策の現状	平成24年10月1日からごみの分別方法を見直し、再資源化にも積極的に取り組んだ結果、ごみの減量化が図られている。 厚木市・愛川町・清川村の3市町村で構成する「厚木愛甲環境施設組合」を中心に新たな処理施設の整備をはじめ収集処理方法等について検討している。 し尿処理については、公共下水道の整備普及により、収集(処理量)は減少し、浄化槽汚泥の占める割合が多くなっている。
法令・制度 の変更	※「愛川町環境基本計画」の改定(平成26年3月) 「愛川町一般廃棄物処理基本計画」の改訂(平成25年3月)
施策の課題	資源循環型社会の構築に向けた取り組みを推進するため、広報紙や出前講座などを活用し、住民や事業者等の意識啓発をはかる必要がある。 ごみ処理広域化については、厚木愛甲環境施設組合を中心に、新たな中間処理施設等の施設整備について、迅速かつ慎重な検討が必要となっている。 し尿処理については、公共下水道の普及に伴い、収集量は減少しているが、引き続き処理は行なわなければならないことから、老朽化した施設の長寿命化や適切な運営管理が必要となっている。

3 施策の成果指標 (基本方針を達成するため本施策に求められる成果を定量的に表記します。)

住民満足度	指標(単位)	総合計画 策定時	中間値 (26年度)	目標値 28年度	達成度
	『廃棄物対策と資源リサイクルの推進』 について「満足」と感じる住民の割合	47.1 %	53.5 %	52.0 %	A

主 な 目標指標	指標(単位)	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
	ごみの排出量(t)	減	14,741	14,509	13,964	13,315	13,709	A
	ごみの再資源化率(%) (一般廃棄物の再生利用率)	増	14.5	20.2	25.0	27.0	24.0	A
								-

4 施策の活動指標 (「3 施策の成果指標」の目的を達成するため本施策において町が行う活動内容等を定量的に表記します。)

主 な 活動指標	指標(単位)	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
	生ごみ処理器補助基数	増	10	13	47	13	15	A
								-
								-

5 総合計画の進捗状況調査に基づく基本施策の評価

基本施策		評価結果	基本施策		評価結果
No.	名称		No.	名称	
1	ごみの減量化・再資源化	A			
2	ごみ処理広域化への取組み	A			
3	効率的なし尿処理	A			

6 総合評価

成果指標評価	A	活動指標評価	A	進捗状況調査結果	A
--------	---	--------	---	----------	---

総合評価

A

(自動判定)

➡ 良好と認められる施策です。

総合評価結果に対する分析（施策全体について、進捗状況、有効性・効率性の観点を踏まえて分析してください。）

ごみ処理の分別化・堆肥化などの施策については、概ね順調に推進が図られているものと思われるが、引き続き、ごみの減量化・再資源化への取り組みを住民や事業者等の協力を得ながら推進していきたい。

7 今後の方向性

方向性	☒ 現状維持 ☐ 一部見直し ☐ 大幅な見直し ☐ 新たな取組みや事業を追加 ☐ その他
改善案などの内容	特になし

8 庁内行政評価委員会コメント

※主管部等では記入しないでください。

評価・方向性	所管部の方向性のとおり
--------	-------------

9 総合計画の進捗状況調査における取組の方向性の評価（事務事業の評価）

[illegible]